

自主・創造・根気

第16号

2018.10.24

三田市立狭間中学校

「挑戦 ～夢は叶えるためにある～」 *部活動のスローガン

○ 丹有大会の結果（総合・団体の成績のみ） *詳細は、ホームページに掲載

種目名	試合結果	種目名	試合結果
陸上競技(駅伝)	男子優勝：女子8位	女子バスケット	5位
サッカー	敗退	女子バレー	敗退
男子テニス	優勝	剣道	男子3位：女子3位

○ 県大会に出場する種目

男子ソフトテニス<団体・個人> 剣道<男子団体・個人：女子団体>

陸上競技<男子駅伝>

全国学力・学習状況調査（4/17実施）の結果から

	平成30年度 中学校 教科別平均正答率				
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
三田市	81	67	77	58	72
兵庫県	77	61	69	48	67
全国	76	61	66	47	66
国との比較	+5	+6	+11	+11	+6

*三田市の生徒の学力定着状況は、今年度も概ね良好という結果が出ました。

本校3年生の状況について、傾向をまとめましたので報告いたします。

○ 本校3年生の生活状況について（質問紙の回答から）

家庭での学習状況や生活習慣、学校生活等は、おおむね良好と判断しています。

- ・学習面では、宿題を中心とした家庭学習や塾での学習は日頃からできていますが、授業における課題解決学習の経験が少なく、読書習慣も定着していないことがわかりました。

- ・学校生活では、規則正しい生活を送り、部活動にも意欲的に取り組んでいますが、自己有用感を感じる場面が少なく、人権感覚にも課題があることがわかりました。
- ・家庭生活では、地域への関心が低いこと、生活リズムの確立や正しい家庭学習の在り方に課題があることがわかりました。

*以上のことから、次のような取り組みが必要と考えています。

1. 「主体的・対話的で深い学び」等、新たな形態を取り入れた授業を推進するため、校内の授業研究を充実させる。
2. 学校図書室の利用頻度を高めて、読書習慣をより定着させる。
3. 生徒の地域行事への参加や地域の方の教育活動への協力などを推進することで、地域社会に関心を持たせる。
4. 保護者と連携して、授業の予習・復習を定着させる家庭学習と健康的な生活リズムを確立する。
5. 教育活動全般において、自己有用感を感じる機会と場を設けることで自尊感情を高める。
6. 自分の将来を考えるキャリア教育を充実させるとともに、学校生活全般において人権感覚を磨く。

*「全国学力・学習状況調査」の結果を分析して、次年度の「学力向上指導改善プラン」に反映させていきます。

「中学校は、大人になるための学校」

中学校は「大人になるための学校」ですから、社会人として必要な教養や人間性を卒業までに身に付ける必要があります。

例えば、漢和辞典には約11,000の漢字が、「大漢和辞典」になると、約5万字が載っています。その中で中学校卒業までに習う常用漢字は、2,136字です。常用漢字を知っていれば、新聞の99%は読むことができます。また、中学校までの英語だけで日常会話はできます。授業では、社会人として必要な一般教養を学びます。

学習面だけでなく、学級活動や学校行事、部活動等を通して、「自立と共生」の大切さを学び、対人関係を通して人間性も磨きます。

学校生活は、すべてに目的があり、意味のあることなのです。